九条はらまち

「はらまち九条の会」会報 No.362

2021(令和3)年6月23日(水)発行

アッというまに成立 6/23 土地規制法

■6月23日は沖縄慰霊の日。■太平洋戦争末期、1945年3月末から約3カ月、生活の場に米軍が上陸し、地上戦で死者は20万人余り。うち沖縄県民は12万人以上。沖縄は本土を守るための「捨て石」になりました。現在も米軍駐留で苦悩は続いています。■私たちの東北地方も沖縄も、中央から歴史的に貶おとしめられてきた点では同じですね。

南相馬市立中央図書館と、JR原ノ町駅・小高駅に「鈴木安蔵の紹介ポスター」が掲示

○5月3日の憲法記念日特設企画として南相馬市中央図書館には、「小高の偉人・憲法学者で日本国憲法の間接的起草者　鈴木安蔵」の大きなポスターが掲示され、安蔵の著作をはじめ、憲法についての本が数十冊が陳列紹介されています。

○また同じ「鈴木安蔵のポスター」がJR原ノ町駅と小高駅にも掲げられ、注目を集めています。

JR原ノ町駅の「鈴木安蔵のポスター」

改札口のわき、駅そば店があったところに置かれ、隣には「大人の休日倶楽部」CMの吉永小百合さんが微笑んでいて、よく目立ちます。吉永さんも「憲法九条を護ろう」といつも話されています。

ポスターの紹介文より　**小高の偉人・憲法学者・日本国憲法の間接的起草者　鈴木安蔵**

鈴木安蔵は、旧小高町(現南相馬市)の生まれで、旧制相馬中(現相馬高校)、第二高等学校(現東北大学)、そして哲学を志して京都帝国大学に進学しました。しかし、治安維持法違反で検挙された後に、憲法学に注目し、自由民権運動期の私擬憲法などに造詣を深めていきました。

安蔵の名を決定づけたのには、敗戦後の新憲法誕生時の活躍があります。安蔵は敗戦間もない1945(昭和20)年11月に、統計学者の高野岩三郎から提案を受け、憲法改正の研究を目的に「憲法研究会」を結成し、その中心メンバーになります。安蔵らが検討を重ねた新憲法案は、1945年12月26日に「憲法草案要綱」として、他の憲法案にさきがけて、いち早く発表されました。この憲法案は、国民主権に基づく天皇制や、社会権を重視した人権規定など、当時の日本では画期的な憲法案でした。この憲法案は、日本国憲法の基となったGHQ案の起草に影響を与えました。

鈴木家住宅　**鈴木安蔵ゆかりの旧家<写真>**薬局を営んでいた鈴木安蔵の義兄は、大正後期に母屋を建てました。この建物は、往時の浜通り北部の商家の暮らしを伝えるものとして、国の登録有形文化財に指定されています。**※見学の電話予約は、「鈴木安蔵を讃える会」志賀勝明へ**

No.362

追悼　若松丈太郎さん

詩人の若松丈太郎さん（会員）が、4月21日、満85歳で逝去されました。本会にも大きなお力添えをいただきました。ご冥福をお祈り申しあげます。本会の活動の中での、若松さんのご貢献を振り返ってみました。

①小高区出身の憲法学者鈴木安蔵を主人公にした映画『日本の青空』は、2007年に若松さんが上映実行委員長を務め、小高と原町上映会は大盛況のうちに開催されました。

②若松さんは2007年3月17日『日本の青空』小高試写会で挨拶され、1971年旧原町市が発行の『憲法』**<右写真>**を持参して説明。その若松さんの『憲法』を原本にして、本会が2007年8月15日に復刻版を作成し会員に配布。そして復刻版を翌2008年1月の成人式から手配りすることに発展します。

③『憲法』復刻版の発行は、さらに本会の陳情で2016年5月、南相馬市の『憲法』発行、全市全戸配布に進展しました。

◀若松さん所有の『憲法』をもとに、本会が発行した『憲法』復刻版。憲法と教育基本法、児童憲章も掲載しています。

④2011年の原発事故の直後「子どもたちが安心して暮らせるまちに」の徹底除染を求める署名を、全国の文学者にも熱心に呼びかけて多数を集めました。チェルノブイリで被ばくし、甲状腺ガンに苦しむ子どもたちを視察した体験からでしょうか。

⑤鈴木安蔵はじめ、特に南相馬市出身やゆかりの人物、島尾敏雄、埴谷雄高、亀井文夫らの発掘や研究成果を、広く伝えてくださいました。2019年6月16日総会時には、「鈴木安蔵と故郷」と題して講演をされています。また、詩「神隠しされた街」はじめ、反原発、護憲、反戦平和、反核の詩作品や評論で、啓蒙的な業績は申すまでもありません。

9条の会賛同人の 小林亜星さん 88歳で死去

5月30日死去した小林亜星さんは、生涯で8千曲を作曲。一方で、2008年九条の会に賛同し、「我々が戦後に得た素晴らしいものは九条だ。我々年寄りが頑張ろう」と話していました。

事務局より≫

今年も総会は中止ですが、「総会資料」は6月10日ころ会員さんに郵送しましたが、届いていますか。ご質問など事務局員にご連絡ください。

新型コロナウイルスの嵐の中、国民の8割が中止を望んでいるのに、東京五輪開催に狂進する政府ですが、皆さんはどうお考えですか。

本会総会の議長、会報の印刷、成人式活動等でご尽力の角田靖夫さんが4月6日に73歳で亡くなりました。心よりご冥福をお祈りいたします。

年会費納入のお願い

○今年の会費千円、あるいは未納の年会費の「振替用紙」を同封いたします。（納入済みの方には入れてありません）

○年会費はこれまで通り、事務局員へ直接納入していただいても結構です。

○よろしくお願いいたします。

ささのはさらさら のきばにゆれる

はらまち九条の会」事務局

○会長：平田慶肇 TEL(0244) 24-1211

○事務局長：早坂吉彦 TEL090-2975-2508

○事務局次長：山崎健一（福島市）TEL090-7527-5453 Eメール：yamazakiken1@gmail.com

○会計：井上由美 〒975-0031南相馬市原町区錦町1-43井上薬局内 TEL22-7511・FAX26-0892

○石田賢二（郡山市） TEL080-5556-4037　○番場恵子 TEL22-0715　○大浦祥見 TEL24-0704

○志賀勝明（相馬市） TEL090-9530-5524　○若松麟二 TEL23-5732　○田中徳雲（小高区）